

# Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム オンライン招へい(SICA・キューバグループ)の記録

テーマ:持続可能な環境及び災害対策 (防災、新型コロナウイルス等の感染症対策を含む)

# 1. 概要

【目的】震災の教訓や復興に係る取り組みを知ることに加え、日本の行政及び環境ビジネスの事例を学ぶために、本プログラムを実施しました。参加者はオンラインで日本企業と中南米諸国とのつながりを学習し、自国での環境保護及び災害対策に活かす契機を得ました。

【参加者】行政官、学術関係者、メディア関係者など 計 22 名(エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、コスタリカ、ドミニカ共和国、ニカラグア、パナマ、ホンジュラス) \* 五十音順

【訪問地】東京都、北海道、宮城県、兵庫県

# 【日程】

| _            |                   |                   |  |  |
|--------------|-------------------|-------------------|--|--|
| 日時           |                   |                   |  |  |
| (日本時間)       | 内容                | 参加者の質問・反応         |  |  |
| 訪問地          |                   |                   |  |  |
| 事前プログラム      |                   |                   |  |  |
| 2021 年 3 月から | 【動画視聴】            | 事前プログラム開催期間前から日本  |  |  |
| 本プログラム終了     | 事前オリエンテーション       | や事前プログラムに関する動画が配  |  |  |
| まで           | 南三陸町からのメッセージ      | 信されており、参加者は動画を視聴  |  |  |
|              |                   | してから事前プログラムに参加しま  |  |  |
|              |                   | した。               |  |  |
| 2021 年       | 【ウェビナー・質疑応答】      | 参加者からは「日本と中南米地域の  |  |  |
| 3月30日(火)     | 「日本における中南米外交」     | 友情の絆について考える機会となっ  |  |  |
| 9:00~9:45    | 講師:外務省中南米局中米カリブ課長 | た」等の声が上がり、今後のプログラ |  |  |
| 東京都          | 正本 謙一氏            | ムへの意欲を新たにしました。    |  |  |
|              | 1. 講義             |                   |  |  |
|              | 2. 質問への回答         |                   |  |  |

| 2021 年     | 【ウェビナー・質疑応答】        | 参加者からは「日本の文化の素晴ら  |
|------------|---------------------|-------------------|
| 4月27日(火)   | 日本商工会議所・東京商工会議所     | しさや、様々な課題に対処する有益  |
| 9:00~10:00 | 1. 講義               | な情報を知ることができ、両国の友  |
| 東京都        | 「コロナ禍での日本での商工会議所    | 情の絆が強まることにもつながりま  |
|            | の活動と役割」             | した」といった声が挙がりました。  |
|            | 講師:産業政策第一部          |                   |
|            | 課長 石井 豪氏            |                   |
|            | 副主査 姫野 裕太氏          |                   |
|            | 2. 質疑応答             |                   |
|            | 3. 参加者間での意見交換       |                   |
| 2021 年     | 【日本文化体験】座禅体験        | 住職の身に着けている装束に意味が  |
| 5月11日(火)   | 1. 「峯光寺」の紹介、小野隆見副住職 | あるかといった質問や、坐禅体験は  |
| 9:00~10:00 | の挨拶                 | 美しく、日本の文化をより深く知る  |
| 北海道 2      | 2. 仏教や座禅についてのお話し    | 機会になったといった声が多数あり  |
|            | 3. 坐禅の方法についての説明・実演  | ました。              |
|            | 4. 参加者の坐禅体験         |                   |
| Į.         | 5. 質疑応答·感想          |                   |
| 2021 年     | 【南三陸町(被災地交流)】       | 「被災して、家も友人や家族も何も  |
| 5月27日(木)   | 1. 講師紹介             | かもが無くなり、地域から離れ、投げ |
| 9:00~10:45 | 2. 南三陸町観光協会による南三陸町概 | 出したくならなかったのか」といっ  |
| 宮城県        | 要・被災当時の状況についての説明    | た質問や「『まずは自分の身を守る』 |
| 南三陸町(      | 3. 講師との意見交換会        | という教訓は、自分をはじめ家族や  |
|            | 4. 感想共有             | 周りの人々、コミュニティを助ける  |
|            |                     | ことを知って、非常に印象深かった」 |
|            |                     | といった感想がありました。     |
| 事前プログラム終   | 【動画視聴】              | 事前プログラム開催期間終了後から  |
| 了後から本プログ   | 1. 日本理解講義           | 本プログラム開始前までに日本やプ  |
| ラム終了まで 2   | 2. ホームビジット体験        | ログラムに関する動画を配信し、参  |
| (6月から8月ま)  | 3. 日本文化理解(京都)       | 加者は動画を視聴してから本プログ  |
| での間に公開) 4  | 4. 広島ピースツアー         | ラムに参加しました。        |
|            | 5. 愛知の魅力~産業、最先端技術~  |                   |
| 本プログラム     |                     |                   |
| 2022 年     | 【オリエンテーション】         | 陣ごとに割り当てられたテーマの再  |
| 3月2日(水)    | 【アイスブレイク】           | 確認と、プログラムの課題に関する  |
| 9:00~10:30 | 【参加者意見交換】           | 情報共有を行う機会となりました。  |
| 東京都        |                     | 全体説明後には陣別参加者間の自己  |
|            |                     | 紹介の場が設けられ、参加動機や日  |
|            |                     | 本との縁など意見交換がなされまし  |

|            |                      | た。                     |
|------------|----------------------|------------------------|
| 2022 年     | 【ウェビナー・質疑応答】         | SDGs を企業目標と結び付けて実践     |
| 3月9日(水)    | 「コーヒーから考える SDGs」     | │<br>│している事例を、中南米地域の主要 |
| 9:00~11:30 | 講師: UCC ホールディングス株式会社 | │<br>│産物であるコーヒーを取り扱う企業 |
| 兵庫県        | サステナビリティ推進室          | が紹介するという企画は、親しみや       |
|            | 願能 千瑛氏               | すいものでした。日本の SDGs の達    |
|            | 1. 講義                | 成度や、目標達成に向ける姿勢を知       |
|            | 2. 質疑応答              | り、啓発されました。             |
|            | 【日本人学生との交流】          |                        |
|            | 講義の振り返り              |                        |
|            | 【参加者意見交換】            |                        |
|            | 振り返り                 |                        |
| 2022 年     | 【ワークショップ・日本人学生との交    | 語学力の高い日本人参加者は、中南       |
| 3月10日(木)   | 流】                   | 米参加者と直接対話をする場面もあ       |
| 9:00~11:30 | 1. プレゼンテーションの発表      | りました。展開される話題は多岐に       |
| 東京都        | 「日本の魅力や強み、身近にある中     | わたり、「現代の日本に関する、あら      |
|            | 南米とのつながり」            | ゆる側面を日本の若者の生の声で聴       |
|            | 2. 感想発表、意見交換         | けるこのような交流の機会をより増       |
|            | 【参加者意見交換】            | やしてほしい」という声があがりま       |
|            | アクション・プラン発表準備        | した。                    |
| 2022 年     | 【ウェビナー・質疑応答、交流】      | 浮世絵の制作過程を間近に見るのは       |
| 3月11日(金)   | 1. 開会                | 初めてであり、熟練の技を要する作       |
| 9:00~10:40 | 2. 講義(浮世絵実演、工房見学、浮世  | 業はもとより、出来上がった作品か       |
| 東京都        | 絵作品紹介)               | ら読み取れる情報について関心が寄       |
|            | 「レクチャー『江戸木版画』」       | せられました。                |
|            | 講師:株式会社高橋工房 代表取締     | グループに分かれて実施されたバー       |
|            | 役 高橋 由貴子氏            | チャル鑑賞会では、グループ内の他       |
|            | 3. グループディスカッション      | の参加者と作品の解釈について意見       |
|            | 4. 質疑応答              | を交わして浮世絵鑑賞を楽しみ、日       |
|            | 5. まとめ、講評            | 本の伝統文化への理解を深めまし        |
|            |                      | た。                     |
| 2022 年     | 【ワークショップ】            | プログラム参加後 3 か月以内に実施     |
| 3月12日(土)   | 【報告会】                | するアクション・プランについて考       |
| 9:00~11:00 | 1. 参加者による発表          | 察したことをグループごとに発表し       |
| 東京都        | 2. 講評                | ました。この日は南米グループと        |
|            |                      | SICA・キューバグループが発表を行     |
|            |                      | いました。                  |

# 2. 記録写真

# 事前プログラム

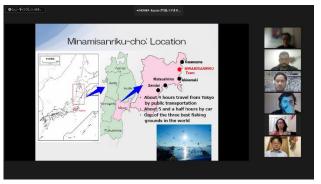




2021 年 3 月 30 日 【Juntos!!中南米対日理解 促進交流プログラム概要説明】

2021年4月27日 【ウェビナー・質疑応答】日本商工会議所の講義の様子

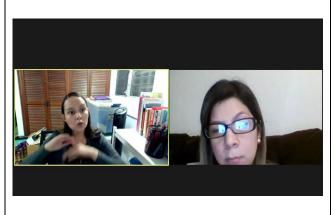




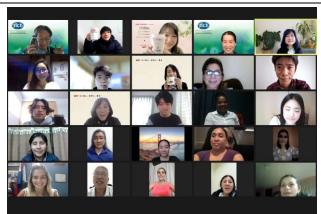
2021年5月11日【日本文化体験】 仏教や坐禅についての説明・実演

2021年5月27日【南三陸町(被災地交流)】南三陸町概要・被災当時の状況についての説明

本プログラム



2022年3月2日【オリエンテーション】 同じ陣の出席者と自己紹介をする参加者



2022 年 3 月 9 日【ウェビナー・質疑応答】 コーヒーで乾杯する様子





2022 年 3 月 10 日【ワークショップ・参加者間 交流】 グループに分かれて交流している様子 2022 年 3 月 11 日【ウェビナー・質疑応答、交流】浮世絵作品を小グループに分かれて観賞する様子





2022 年 3 月 12 日【報告会】 アクション・プランを発表する様子 2022 年 3 月 12 日【報告会】 アクション・プラン発表後の集合写真

# 3. 参加者の感想(抜粋)

# ◆ ドミニカ共和国 社会人

有意義な文化交流や体験談を分かち合うことができて、とてもすばらしいプログラムでした。

# ◆ コスタリカ 社会人

ビデオはとても役に立ち、津波の影響を受けた地域のビデオを見ると、その復興は印象的で日本を 訪れたいという期待が高まりました。ライブ講義は、全体的に楽しく、有益な情報を得ることができ たと思います。

# ◆ グアテマラ 社会人

参加者同士の経験の共有は有益なものであり、最後の交流の場面では、グローバルな問題に直面している各国の共通点を確認することができました。

# ◆ ニカラグア 社会人

今回の交流プログラムに参加できることをとても嬉しく思います。参加することで、日本文化の素晴らしさや、様々な課題に対処する有益な情報を知ることができ、両国の友情の絆が強まることにもつながりました。

# ◆ エルサルバドル 社会人

完成度が高く、興味深く、やる気を起こさせるプログラムだと感じました。日本を知りたいという気持ちは、プログラムに盛り込まれたすべての情報、特に禅の授業を受けた最後のパートで高まりました。日本は印象的で、豊かで、千年の歴史を育んできた文化があることは、もっと世界の人々に知られるべきだと思いました。

# ◆ コスタリカ 社会人

大変気に入りました。Juntos!!プログラムで知り合った素敵な人々に会いに日本に行けないのは正直なところ大変残念ですが、この素晴らしいプログラムのおかげで、さらに日本について学び、いつの日か日本を訪れたい気持ちが一層強まりました。私の知識はより深まりましたし、地理的・生活的に異なる人々と知識や経験を共有できたことは大変有意義でした。今では、日本は私の心の特別な部分を占めるようになりました。

# 4. 受入れ側の感想(抜粋)

# ◆ 一般社団法人 南三陸町観光協会

甚大な災害であった東日本大震災について、事後の住民の心情や復興へ向けての活動についてなど、 短時間ではありましたが伝えることができたかと思います。

# ◆ 企業講演者

中南米はコーヒーと関わりが深く、そのような国からの参加者やそのような国に興味のある日本の 学生から話を直接聞けることができ、とても嬉しく思っております。

# ◆ 協力団体担当者

浮世絵を題材にしたグループディスカッションでは、日本人の私たちでは気づかないような視点を知ることができてとても感心したほか、参加者の皆さんが積極的に講師とコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。

# 5. 参加者の対外発信、報道記事



2021年4月1日 (Facebook)

#Juntos!! #juntosjapon

あなたの国で日本にルーツを持つ人々を知っていますか?ラテンアメリカの日系コミュニティは 1880 年から 1960 年の間にでき始めました。 今日では、およそ 220 万人の日系人が日本とラテンアメリカの橋渡し役となっています。

Japón nos deia muchas enseñanzas de colectividad, unión y solidaridad ante el covid-19. Ayer, reflexionaba con colegas de Centroamérica y República Dominicana, sobre la respuesta rápida que dio el gobierno, el sector empresarial y civil para auxiliar a las empresas en problemas en Japón, mientras aquí nos llegó un poco tarde. La Cámara de Comercio e Industria de Japón (JCCI) nos compartió experiencias de respuesta y de unión empresarial en esos momentos y nos inspiró a reflexionar sobre medidas innovadoras en nuestros países, más allá del sector de alimentos, artesanía y turismo, los más afectados. Al final, todo está interconectado y nuestros conocimientos y experiencias son valiosos para muchas personas que necesitan sobrevivir ante este contexto. Una sesión rica donde aprendemos que #Juntos podemos superar nuestras limitaciones Espero con ansias nuestra próxima sesión.

2021年4月28日 (Facebook)

日本は、集団性、団結力、連帯感について多くの 教訓を私たちに教えてくれています。

昨日、中米とドミニカ共和国の仲間とともに、 日本では政府、ビジネスセクター、市民社会が、 企業が困難に直面した際迅速に対応したことを 振り返ると同時に、私たちの地域では対応が少 し遅れてしまっていたことを議論しました。日 本商工会議所 (JCCI) は、そのような時の対応 とビジネスセクターの結束の経験を共有し、最 も影響を受けた食品、手工業、観光の分野にと どまらず、自国での革新的な対策について考え る契機を与えてくれました。

最後に、全ては相互につながっており、私たちの知識や経験は、その中で生きていかなければならない多くの人々にとって貴重なものです。#一緒なら (Juntos) 限界を突破できると学んだ素晴らしいセッションでした。次のセッションが楽しみです。



Como parte del Programa de Intercambio "Juntos!! Japón -Latinoamérica y El Caribe" hace unos días tuvimos la oportunidad de compartir con personas de Minamisanriku, pueblo que fue devastado por el terremoto y tsunami de 2011 en Japón.

2021年5月11日 (Facebook) 仕事の後に座禅

2021年5月27日 (Facebook)

2 d · 🛎

「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」 の一環として、2011年の地震と津波で被害を受 けた南三陸町の人々と交流する機会がありまし た。



♦ De gusta a klavaza\_photo y 3 personas

silvialanuza Aprendiendo sobre el impacto del anime en los jóvenes japoneses. Interes... más

Hace 1 día • Ver traducción

2022 年 3 月 11 日 (Facebook)

日本の若者達と一緒に過ごしています。

2022 年 3 月 11 日 (Instagram)

日本の若者におけるアニメのインパクトについ て学びました。とても興味深かったです。



● HOME > 体験レポート > 「Juntos! 沖南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

### ■ 2021-006 FE1 4D

### 「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート

### = 字数据面

【団体】外務省が推進し、JICE (一般財団法人日本国際協力センター) が実施する 「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」参加者の皆様 【日時】 2021年5月27日 9:00~10:45 【人数】 47名

### ■Juntos!!リアルタイム交流会の様子

南三陸町では、日本国内にかかわらず、海外の方々とも交流を行い、多くの縁を繋いでき ました。

今回、一般財団法人日本国際協力センター(以下JICE)様主催の下、中南米にお住まいの 方々と南三陸町の復興の担い手たちが、ZOOMを使ったリアルタイム交流会を行いました。

初めに一般社団法人南三陸町観光協会事務局長の及川より、南三陸町の概要をご説明しま した。英語に顧訳したデータや写真を共有し、南三陸町の震災時の状況や復興の様子をお 伝えしました。





その後、10グループに分かれて交流を行いました。今回、南三陸町の講師として参加され たのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている10名の方々。講師の方か ら、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいてから、意見交 換に入りました。

# 2021年6月14日 南三陸町観光協会

(中略) JICE 様主催の交流会に参加された方々は、中南米で行政や教育、報道に携わる方々です。そのため、南三陸町での防災対策や行政の取り組みに対して、自分の国にはどう生かせるか、という視点でお話を聞いている様子でした。

震災当時、南三陸副町長を務めていた遠藤健治さんのグループでは、防災についての意見交換が行われました。町の職員として被災者の対応や復旧に携わってきた遠藤さん。南三陸町は1960年のチリ地震の津波を経験したことから、行政はかなり高い水準の防災対策を講じてきたそうです。しかし、東日本大震災では、想定していた高さをはるかに越える津波がきたことから、自然災害というのは予想外のことが起きるものなのだと感じた、と語りました。

その話を受けて、「コスタリカでも津波が起きることがある。津波が起きた時のために、行政が働きかけられることはなんだろうか」という質問が出ました。それに対し遠藤さんは、ハザードマップなどを用いてエリアの災害リスクを市民へ周知することが大切だ、と答えます。行政の力では防げないことも多くあり、行政が被災することもある、住民全員が自分の住んでいる災害リスクを把握し、自分の命は自分で守るように意識を持つことが大切だと、遠藤さんは感じたそうです。

他にも質問は、「防災メッセージを普及するためにどのような技術を使用しているか」など具体的な分野に及び、時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。

参加した方からは、「被災地の方々の経験を聞いてとても感動し、多くのモチベーションを得ることができた」「コロナ禍のために対面での交流はできなかったが、震災後、生きている人たちとつながり、お互いの体験を語るだけで、団結する力や絆が強まり、共感する心が生まれるものだと感じた」等の感想をいただきました。



後もコーヒー産業の発展に 貢献し、世を実施にした い」とアビールレル。参加 者は、質問や現地のコーヒ 者は、質問や現地のコーヒ ・ 教理等何の報告、感想な どを述べ合った。 可はは4月末にも、それ ぞれの取り組みり具体的 な日標を込をまたりめる予 た。顕能さんは「セミナー

2022 年 3 月 18 日 (神戸新聞)

UCC ホールディングス(HD、神戸市中央区) は、コーヒーを通じた SDGs (持続可能な開発 目標)に関わる活動を身近に感じてもらおう と、学生向けのオンラインセミナーに力を入れ ている。業界の取り組みを発信し、次世代を担 う若者に理解を深めてもらう狙い。(中略)9 日には、日本国際協力センター(JICE)が外務 省から受託した国際交流事業のプログラムとし て実施。英語とスペイン語の同時通訳があり、 日本の学生に加え、中南米7カ国の外務省職員 やメディア関係者ら25人が参加した。

同社の願能千瑛さん(31)がコーヒーの一般 知識のほか、生産国の貧困解決や環境問題への 取り組みをクイズや動画を交えて紹介。「今後 もコーヒー産業の発展に貢献し、世界を笑顔に したい」とアピールした。参加者は、質問や現 地のコーヒー栽培事情の報告、感想などを述べ 合った。

# 6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

# グループの活動計画



# Nuestro Plan de Acción (Plan del grupo) Grupo Ey F Equipo SICA CUBA Nombre León Romeo, Lanuza Silvia, Fonseca Maruquel y Pineda Mercedes Offulo

Por que: Existen muchas similludes entre log países y la relgición con Ispón. Gran parte de los contendos provistos a lo largo del programa nos illustration accera de tensus de sostenidad y medio ambiente asi como asportos culturales, político y económicos que son validos para cilificación y operador el conocidimento de lapone in mentro respectivos países.

Cuidado: De hechay se se ha comencado a difundir en nuestras redes osciales, pero a largo plazo en periodos de marzo a mayo.

Quidar: Directamente nosotros como fuentes difusoras principales.

A quidar: Chandiante y sociedad en general en puestros países, a traves de las redes llegamos no solo a nuestros circulos también podemos países, mon y emplandos incosos como cambie gabernamentales, periodoco podemos abaccar mos ecoptores incluso bienes de nuestros países.

Que Diversas actividades listadas en el como.

Que Diversas actividades listadas en el como.

Que Diversas actividades lastadas en el como el cambie podemos países, periodoco podemos abaccar mos ecoptores incluso bienes de nuestros como como cambie gabernamentales, periodoco podemos abaccar mos ecoptores incluso bienes de nuestros como como cambie gabernamentales, periodoco podemos abaccar mos ecoptores incluso bienes de nuestros como como cambie que puede dar a nuestros como como bebida y los bometiciós que puede dar a forma pode como bebida y los bometiciós que puede dar a for Para de producios de tensus electores podemos abaccar mos ecoptores enclares de caute de cardo desde los formas podemos que puede dar a forma podemos enclares podemos podemos de producios de producios de producios enclares producios de como bebida y los bometiciós que puede dar a forma podemos periodicios de tenso activar pipones, a directo de cardo desde podemos de producios de articulos en predidicios de tenso activar pipones, a directo de como desde podemos de producios de articulos en producio

# ■ 実施名称:

「持続可能な環境 —日本とグアテマラの関係—」

# ■ 実施理由:

日本と中南米諸国には類似点が多々あります。グアテマラも例外ではなく、類似点をベースに両国政府が協力して環境保全事業への取組みをすすめることで、環境を持続可能なものへと変えてゆきたいと考え、この計画を策定するに至りました。プログラムのコンテンツから、文化、政治、経済、持続可能な環境に関連した知識を得た結果、自国でその知識を拡散する価値があると考えます。

# ■ 実施時期:

この三か月でドキュメンタリー番組を作成して、政府系放送や個人の SNS、ウェブページで流します。

# ■ 実施する者:

参加者の一人の SNS の内容をグアテマラ放送局と政府系チャンネルを通じて発信します。

# ■ ターゲット:

該当メディアを視聴する一般国民他、友人や 家族に向けて配信することで、日本への造詣 を深めてもらいます。

# ■ 実施方法:

視聴覚資料を作成し、国営チャネルや SNS で配信しニュース放送局で流すための事前調査から活動を開始します。

# 個人アクション・プラン

- Japón ha tenido un apoyo a los tres países en relación con temas sobre medioambiente sostenible.
- En este sentido, JICA definió el tema "Corredor Biológico y la Conservación de Humedales" como uno de los temas prioritarios de cooperación con SICA en 2015.
- CCAD y JICA firmaron el Registro de Discusión en junio de 2018 y acordaron la ejecución del "Proyecto de Desarrollo de Capacidad para la Gestión y Conservación Integrada de la Biodiversidad a nivel regional en la Región del SICA".
- Con este corredor biológico, se busca fortalecer el mecanismo de gobernanza de la zonas transfronterizas importantes para la conservación.

Apoyo de Japón para temas de medioambiente sostenible



# El café

- Debido a que el café es el cultivo común en los tres países, por eso se dispuso a tener un plan de acción en el cual se hable sobre el tema y los usos que se pueden dar a sus residuos.
- Su cultivo llegó a nuestros países a mediados del siglo XIX.



# Mi Plan de Acción Liaga el favor de implementar Plan de Acción después del programal Grupo:F Nombre de país: País: Panamá Nombre: Maruquel Fonseca Nombre del proyecto Per que: Pra diffundir lo aprendició a travel del programa en el estorre, docude me desempeño y dar apopo en los poyectos religionados a la cultura japonese cor los aperceladors. (Sobjetivo principal seria logi per diffundir esconeresta y los arrentes para en el estorre, docude me desempeño y dar apopo en los poyectos religionados a la cultura japonese cor los caperciales. (Sobjetivo principal deria logi er diffundir esconeresta.) Cuánci: En principio cuando inciden las clases en la universidad (abrill-mayo) Quán: Yo lo implementaria directamente Para quálen: Para profesores y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes, ad como publico en general. Qué Apopo a la brosonese de temas y estudiantes para la diobescion de estudian en periodicion. Aportante de la contractica de la como desperancies. Discion alexando en esta de losgetimo de la como desperancies. Discion alexando en esta de losgetimo de la como desperancies. La como de la como desperancies de la como de

# 【パナマ社会人参加者の場合】

■ 実施内容: 活動の普及

■ 実施理由:

自身の役目に関連することでプログラム中に 学んだことを広め、自らも関わっている日本 文化についての様々な取り組みの支援をして いきます。プログラムから得た学びを、多く の人に伝えることを目的とします。

■ 実施時期: 大学の授業開始時期(4~5月)

■ 実施する者:

自分

■ ターゲット: 教師陣、学生、一般市民

■ 実施計画:

新聞記事用の主題や素材探しの支援や、パナマ大学建築デザイン学部内に(JICA協力のもと)日本研究センターを創設するための支援、加えて文化、経済、食にまつわる内容で、SNSや講演会、教師・学生向けの学内講義を通じた情報発信を行います。

■ 実施方法:

日本文化に関する新聞記事の執筆や日本研究 センター創設事業にはすでに取り組んでいま す。今後も SNS や講演等の媒体チャンネルを 活用して 発信を増やしていく計画です。

実施団体名:一般財団法人日本国際協力センター (JICE)